

導入事例

Case Study

京都の観光スポットと店舗情報を検索可能なアプリケーション「おおきに京都」を観光クラウドサービス「Japan2Go!」でリリース



京都の商店組合や業種組合が出資して設立した合同会社 KICS（以下、KICS）は、加盟店の業務効率化や地域経済の活性化などさらなる発展を目指し設立されました。さまざまな取り組みの中でも、11社のクレジットカード会社と契約し約1,300の加盟店舗が行うクレジットカード決済を一括処理することで、加盟店の収益改善を行った実績は高く評価されています。さらなる加盟店の販促活動推進策として、ソフトバンクが提供するASP型多言語観光クラウドサービス「Japan2Go!」を導入、スマートフォンやタブレット端末から加盟店を検索できるアプリケーション「おおきに京都」をリリースしました。



効果と課題



合同会社 KICS
管理室 室長
井上 恭宏 氏

課題 フィーチャーフォン用に構築した KICS 加盟店検索サイトでは急増するスマートフォン利用者に対応できませんでした。

効果 既存の店舗情報を活用して京都観光ガイドおよび店舗検索が可能なアプリケーション「おおきに京都」を構築。簡単・短期間・低コストでスマートフォン利用者への対応ができました。



合同会社 KICS
総務委員会 委員長
青木 康仁 氏

課題 観光客を効率的に店舗へ誘導可能な ICT ソリューションを探していました。

効果 「Japan2Go!」は GPS を使って現在地周辺の店舗を地図上に表示できる機能があり、実店舗へのユーザの誘導力を向上させることができました。

課題 アプリケーションのコンテンツ管理に専念できる専門スタッフの用意ができず、導入に踏み切れませんでした。

効果 コンテンツマネジメントシステム（CMS）が用意されており、データの更新・管理に特別なスキルは不要のため、専門スタッフでなくても簡単にコンテンツの更新ができます。

導入の背景 クレジットカード一括処理事業からインターネット事業へ

KICS は京都の中小規模小売業者約 1,300 社が加盟するクレジットカード一括処理事業を中心とした地域情報化推進団体です。スケールメリットを生かしてクレジットカード、デビットカード、銀聯（ぎんれん）カードなどの海外発行カード、電子マネーなど大型店と同等の決済機能を安価に加盟店に提供しています。

カード決済システムの合理化からスタートした同社の事業は、宅配便の一括処理による送料節減を実現した物流システムやインターネットショッピングサイト「きょうとウエルカム」の運営へと拡大

しています。「2007 年ごろから KICS 加盟店を検索できる携帯電話向けサイト『KICS なび』を運営していましたが、京都を訪れる観光客はスマートフォンにインストールされた地図や観光マップなどのアプリケーションを利用して観光スポットや店舗を探すことが一般的になりつつあります。そこで『KICS なび』の店舗情報は活用しつつ、写真や GPS 機能などスマートフォンならではの機能拡張を施したアプリケーションを開発できないかと考えました」と語るのは同社の青木 康仁氏です。

選択のポイント ●●●▶ 観光アプリケーション開発の ASP サービスでコストメリット

しかしスマートデバイス向けにアプリケーションをすべて自社開発するには機能設計に特別なノウハウが必要であることや、iOS / Android の OS バージョンアップに伴う機能改修コストなど、運用コストの負担が大きくなる懸念がありました。そこで同社はにネイティブアプリケーションを簡単に制作でき、OS バージョンアップ対応やアプリケーションの機能が常に最新状態で提供されるクラウド型サービスに着目しました。

同社はソフトバンクが参加して立ち上げた沖縄観光情報システムモデル事業「Okinawa2Go!」を見学したことをきっかけに、ソフトバンクが提供する ASP 型多言語観光クラウドサービス

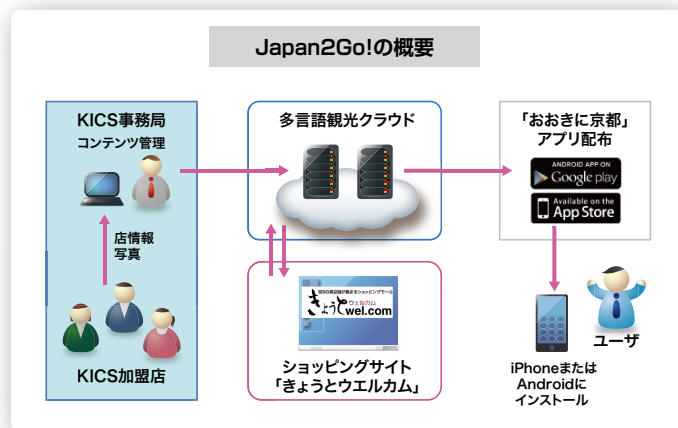
「Japan2Go!」の採用を決めました。観光情報や地域情報などを提供するアプリケーション基盤が用意されている「Japan2Go!」では、写真や文字情報といった素材をあらかじめ用意されているクラウド上のデータベースに登録するだけで簡単に iPhone、iPad および Android 向けのご当地アプリケーションが開発できます。「既存の資産を利用できるうえに、スマートフォンならではの機能を追加できる点が当社のニーズに合致しました。コンテンツの更新は ICT の専門知識を持たない当社の事務局スタッフでも使いやすいコンテンツマネジメントシステムから簡単に行えます」と同社の井上 恭宏氏は採用の経緯を語ります。

導入の概要と効果 ●●●▶ 京都観光案内を活用した店舗誘導が可能に

同社では「おおきに京都」と名付けた iPhone、iPad および Android 端末から使える京都観光アプリケーションを 2013 年 9 月にリリースしました。以前の携帯電話向けサイトとの違いは、単に店舗を検索するだけでなく観光客に使いやすい機能を盛り込んだことです。例えば「旅の軌跡」というメニューでは、GPS を活用してユーザの移動した軌跡と写真を地図上に記録して日記のように活用できます。

ほかにも「リスト検索」「周辺検索」「京のお買い物」など 7 つのメニューが用意されています。「リスト検索」では KICS に加盟する約 1,300 の店舗情報を店名やカテゴリで検索でき、取扱商品の詳細や営業時間を調べられます。住所をタップすれば地図アプリケーションと連動して店の場所をチェックすることも可能です。「周

辺検索」では地図上に表示される現在の周辺の加盟店のアイコンがプロットされ、ユーザへ視覚的に通知できます。地図に表示されたエリア内で「装い」「味わい」「美」といった 9 つのカテゴリで絞り込むことも可能です。「京のお買い物」は KICS が運営しているオンライン・ショッピングモール「きょうとウェルカム」のスマートフォン版で、加盟店の商品をオンラインで購入できます。このように「おおきに京都」ではユーザの購買を促進するさまざまな仕掛けが盛り込まれています。



導入したサービス

「Japan2Go!」は観光情報、地域情報などを提供するアプリケーションを簡単・短期間・低コストで構築する ASP 型の多言語観光クラウドサービスです。多彩な基本機能をベースに、コンテンツやトップ画像を変更することで、独自のご当地アプリケーションの提供が可能です。また、行動分析サービスとして個人を特定しない形でアクセスログおよび GPS ログデータの収集も可能です。

今後の展開 ●●●●▶ 行動分析サービスを利用したエリアマーケティング

「Japan2Go!」の機能のひとつに位置情報連動通知があります。これはユーザが特定の場所に近づくとスマートフォンの画面上にポップアップ通知を表示して情報配信するものです。「位置情報連動通知機能と店舗ごとのキャンペーンを連動させ、例えばあるお店に近づくとプレゼント情報が通知されることで来客を促進する」といった施策が可能になります。こうしたスマートフォンならではの機能を積極的に活用して、来客数を増やす施策を進めていきたいで

す」と井上氏は語っています。

また、オプションサービスとして提供される行動分析サービスにも関心があるといいます。「おおきに京都」を利用するユーザの位置情報を統計的に分析すれば、観光客の動向把握や今後の販促施策を立案する際の基礎データとして活用できます。KICS ではこれからも「Japan2Go!」などの ICT を活用した店舗活性化を進めていきます。

合同会社 KICS

本社：京都府京都市下京区四条通麩屋町西入立売東町 24 番地みやや四条ビル 6 階

設立：1992 年

資本金：1,018 万円

従業員数：3 名

概要：1992 年に 8 商店街、380 店舗で発足。加盟する店舗のクレジットカード処理を一括して代行することで、個々の商店における手数料やクレジット処理端末の設置といった加盟店の業務負担を軽減できる「きょうと情報カードシステム」をスタート。その後日本発のデビットカードシステム導入やインターネット通販サイトの自主運営などにも乗り出し、現在では 49 団体、約 1,300 店舗を擁する日本最大の地域情報化推進団体となっている。

URL：http://www.kics-llc.co.jp



※パンフレット記載内容は、2015 年 5 月現在のものです。